

京都市クアラルンプール情報拠点レポート(2019年6月・7月分)

1 統計

○訪日旅行者数(マレーシア)

・2019年6月 30,500人(2018年6月 36,462人)(伸率 -16.4%)

・2019年7月 23,000人(2018年7月 23,088人)(伸率 -0.4%)

※出典「日本政府観光局(JNTO)」

○京都市内ホテル対象宿泊延べ人数(マレーシア)

・2019年6月 1,581人(2018年6月 1,705人)(伸率 -7.3%)

対象施設数:57ホテル

・2019年7月 884人(2018年7月 1,043人)(伸率 -15.3%)

対象施設数:58ホテル

2 市場動向

■訪日外客数(2019年1月 推計値)

◆訪日外客数(全体)

5月:2,773,100人(前年比3.7%増)

6月:2,880,000人(前年比6.5%増)

◆マレーシアからの訪日外客数

5月:42,600人(前年比17.0%増) ※5月として過去最高

6月:30,500人(前年比16.4%減)

考えられる要因

(5月)

昨年は6月に始まった学校休暇が5月下旬から始まったこと、また祝日の移動により連休を取得しやすい日並びであったこともあり、訪日者数は好調な伸びを記録した。

(6月)

昨年は6月に始まった学校休暇が5月下旬から始まったこと、また昨年は3連休となったハリヤ・プアサ(断食明け休暇)が今年は2連休であったことにより、訪日者数は前年同月を下回った。

■国内情勢、経済情勢

第16代マレーシア国王の戴冠式

7月30日にマレーシアの首都クアラルンプールで、今年1月に即位したアブドラ国王の戴冠式が行われた。

王宮で行われた儀式では、「法と憲法に従い、マレーシアを統治する義務をまさに果たし、いつもイスラム教を誠実に敬い、正義と国の平和的行政を護ることを誓う。」と国王の宣誓が読み上げられた。

戴冠式当日は、マレーシア全土が祝日となった。



2019年第2四半期の経済成長は前期以下になる見通し

シンクタンクのマレーシア経済研究所(MIER)は、第2四半期の国内総生産(GDP)増加率は、第1四半期の4.5%を下回り、通年でも昨年を下回るとの見通しを示した。カマル・サリ理事長によると、米中首脳が大阪で会談した際、妥協の姿勢を示しており、第3四半期の国内経済には好影響が予想されるという。

尚、政府の通年のGDP増加率予想は4.9%となっている。

甘味飲料に対する物品税(砂糖税)が導入。糖尿病患者や肥満児童の増加が背景。

マレーシア政府は7月1日、規定値を超える砂糖を含む甘味飲料に対し、物品税(いわゆる砂糖税)を導入した。

対象製品は、缶やペットボトルなどの形状で販売される甘味飲料で、1リットル当たり40セン(約10円)が課税される。

砂糖税導入の背景には、糖尿病患者数の増加がある。マレーシア保健省が5年に1回実施する「国家健康・疾病率調査」によると、2011年調査における人口に対する18歳以上の糖尿病患者の比率は15.2%だったが、2015年調査では17.7%に増加した。

また、生活習慣病を引き起こす肥満も増加しており、特に子供の肥満は深刻な社会問題となっている。

■旅行業界の情報

マレーシア航空再建に向けた提案

マハティール首相は、経営難のマレーシア航空(MAS)の再建に向け、国内の投資家などから4つの提案が寄せられている事を明らかにした。

その内1件は、エアアジア・グループのパハミン・アブ・ラジャブ元会長のグループからだとされており、5人のパートナー投資家とともに、「マレーシア航空株の49%の買収」、「全従業員の雇用維持」の提案があったと報じられている。

マハティール首相は、まだどの提案を受け入れるか決まっていないとした上で、検討には一定の時間が必要と述べている。

クアラルンプール-那覇チャーター便

沖縄観光コンベンションビューローが、11月にクアラルンプール-那覇間双方向チャーター便を運航予定。Apple Vacationsが、企画・集客を行う。クアラルンプールから沖縄へのチャーター便運航は3年連続となる。

■日本関連イベントトピックス

「Japan Expo Malaysia 2019」開催

7月26日から28日にかけて、クアラルンプール中心部のショッピングモール Pavilion で、日本をテーマにした総合イベント「Japan Expo Malaysia 2019」が開催された。今年で3回目の開催となる。

マレーシアで初となるAKB48のコンサートや、人気コスプレイヤーによるパフォーマンスが繰り広げられ、日本好きのマレーシア人をはじめとする多くの来場者で、3日間を通して盛況だった。

